

【米田名誉主宰の俳句】

百日紅

米田規子

海風や動く歩道の先は秋
新涼の音かひさびさ窓の雨
秋立ちぬ珈琲豆を挽いてより
幾重にも白波立ちて秋はじめ
坂道はエクササイズと青蜜柑
はつあきやハープの調べアルペッジョ
無花果を裂く犇きはそのなかに
おんあなたち老いてかしまし百日紅
ひぐらしや透明になりゆくわたし
秋暑しにんにく生姜微塵切り